

エコロジカルな回心 —すべてのいのちを守るため—

養成修道院

人間は神の創造のみわざの最後に神の似姿として創造されました。その世界は神の「掟」に従った「樂園」でした。決して損なわれてはならないいのちの調和に満ちた世界でした。神は祝福によって生きるための「掟」を与えて人間との関係を維持しようとされたのです。けれど「掟」に背くことで祝福の基盤を人間は自ら打ち砕いて、神との関係を破棄してしまいます。「樂園追放」は人間が追放されたというよりも、人間が神たらんとして樂園を失ってしまったということでしょう。現在も悲しいかな、それは続いているような気がします。



神からの離反は、こわ〜い蛇という誘惑によって私たちの中に潜み、この世のあらゆる苦悩の根源を生み出しています。この世には便利なものがいっぱいです。頭が良い人間は科学技術の発展を絶え間なく追求し、より快適な生活を手に入れました。それは悪いことではありません。ところが、考えもなしに蛇にのこのこついていくと、とんでもないところに行きつくわけです。生物の多様性の崩壊、気候変動による災害の激増、際限のない消費欲。温暖化によって海水の温度が上昇し氷床の融解が始まっている様子を、私たちは何度もテレビで見えています。土地は砂漠化して熱波が襲い、森林火災もたびたび起きています。洪水や水不足にいたっては私たちが毎年経験しているところです。今こそ蛇の甘いさやきにのらずに、生命圏に備わった掟に従って、地球という家を存続させるため、一人ひとりできることを実行するときです。



小学生のときに習ったミトコンドリアは、細胞呼吸をつかさどるものです。細胞内に共生して進化します。いのちは初めから共に生きてきました（コロナウイルスは困りものですが）。自然を大切にする認識を深め、現実を正視しながら問題克服に努めていきたいと思います。とは言ってもささやかな努力しかできません・・・

- ① 晴天の日は脱水しないで干す。握力低下防止にもなる。
- ② 食事は適量を残さずいただく。「食料の浪費・廃棄は人間を捨てること」だと教皇様は語っている。
- ③ 食卓の調味料は控えめに。無駄な食器は減らし、洗い物を少なくする。
- ④ 物を大切に使い、また最後まで使い切る。チューブ入りのものなど特に。修理して使い利用することを心がける。
- ⑤ 資源の無駄使いをしない。
- ⑥ 精神的なエコ 時間を無駄なく使う努力をする。自分の才能を共同体のために生かす。毎日、自然界と会話する。（共に生きていることを感じ、よい空気を取り入れる）

高校時代に、あるアフリカの国で起きている現象を映像で見ました。生態系の循環の中心となる森林が伐採され、年々山の土が流されて砂漠化し、麓の村には洪水をもたらしていく

様子でした。もう何十年も前のことですが、今はもっと深刻な状況になっているでしょう。ごみについては、現在は容器包装材が半分以上を占め、便利で清潔で楽で安くという使い捨ての生活となって、結果ごみが増えています。八百屋のおじさんが新聞紙に野菜を包んで「はい、おまけしといたよ。」と言って買い物かごに入れてくれた昔を懐かしく思い出します。最近では食品ロスやプラスチックごみについての問題が明るみになるにつれて以前よりライフスタイルを考えるようになりましたが、地球環境の問題はすべて私たちの生活習慣に関係していることだと改めて考えさせられます。私たちは地球の管理者であって、主人でも持ち主でもないのです。

新型コロナウイルス感染の終息はまだ見えず忍耐の日々ですが、新しい生き方を発展させるチャンスだとも言われています。

周囲に無関心なエゴというウイルスに侵されないで、エコに目を向け、自分も他者も将来世代もみんな豊かになる兄弟愛と助け合いに満ちた社会を築いていきましょう。



養成修道院 玄関